



掲載団体・内容

つながるコラム 1面
 一般社団法人3C 2面
 桜台花クラブ 3面
 助成金等情報 2・3面
 お知らせ 4面

つながるコラム 稲木 祐二さん 第1回 「ボッチャ」と「練馬ボッチャクラブ」

「つながるコラム」では、地域で活動されている方の想いや感じていることなどを紹介していきます。1人ずつ全3回の連載です。今回は、稲木祐二さんの1回目です。

稲木 祐二 (いなき ゆうじ) さん



地域福祉パワーアップカレッジねりま5期生。在学時にボッチャの魅力を知り、同期生の有志と練馬ボッチャクラブを設立。障害者施設や高齢者施設などで「出前ボッチャ」を開催し、ゲームの楽しさを伝えている。



クラブの月例会にて参加者と記念撮影

“みどりと人と地域をつなげる”「NPO法人みどり環境ネットワーク!」の村田さんからのバトンは、“ボッチャで人と地域をつなげる”「練馬ボッチャクラブ」稲木祐二が受け取りました。連載を始めるにあたって、まずはボッチャについて紹介します。

ボッチャとは、ジャックボール(的球)と呼ばれる白いボールに、赤と青のボールを6球ずつ近付けて競う競技です。ボールは、だいたい桃くらいの大きさ(周長270ミリ)で、重さは280グラム前後。カーリングは相手のストーンを弾きますが、ボッチャは相手のボールを弾いたり、自分のボールや的球を押ししたりして、相手と自分で的球に近いボール



練馬ボッチャクラブのメンバー

がどちらが多いかで勝敗が決まります。

ボッチャは、紀元6世紀頃にイタリアで楽しまれて

いたボールゲームが原型とされています。現在のように、障がい者のために考案されたルールで競技が行われたのは、35年前のニューヨークパラリンピックでの公開競技が最初でした。その後、1988年のソウルパラリンピックから正式競技となり、日本は2008年の北京大会以降、ロンドン、リオデジャネイロと3大会参加しています。

練馬ボッチャクラブは、このパラリンピックの競技“ボッチャ”を年齢、性別、障がいの有無などに関わらず、誰でも楽しむことができるスポーツととらえ、「出前ボッチャ」と称して、区内の高齢者施設、学校などで普及活動を行っています。ほかにも、ココネリで開催される「練馬つながるフェスタ」や「みんなのUDパーク」には毎回参加しており、幼児・小学生から高齢者まで、ボッチャ体験を楽しんでいただいています。

第2回は「ボッチャで人と地域をつなげる」です。

地域活動に関する相談を受け付けています

■ 区民協働交流センターの窓口では、町会・自治会、NPO、ボランティア団体などの活動に関する相談を随時受け付けています。どうぞお気軽にご利用ください。

受付時間：9時～22時
 年中無休(12/29～1/3を除く)

【事前予約が必要な相談内容】

- ① NPO法人の立ち上げ、運営等に関すること
- ② 会計・税務に関すること

専門の相談員や税理士が対応しますので、事前に電話でのご予約をお願いします。

相談希望は区民協働交流センターへ(4面参照)

子どもたちの健全な身体と心を育てるために

一般社団法人3C



代表の石郷岡(いしごうおか) 旭さん

高校時代、けがで自身がスポーツの夢を諦めた経験から、同じようにけがで苦しむ子どもたちを減らしたいという思いでトレーナーを目指した石郷岡さん。地域の子どもの身体と心の健全育成を目指し、平成30年11月に一般社団法人3C(さんしー)を立ち上げました。3Cの理念に賛同した管理栄養士や教員、保護者、行政関係者などの協力を得て運営をしています。

今年の4月から8月にかけて開催したのが、保護者や指導者を

対象とした「子どもの健全育成セミナー」。ストレッチのやり方や、けがの予防、応急処置、栄養指導など、内容は多岐にわたります。セミナーに参加した保護者から相談を受けて、後日、個別に子どもの身体をチェックし、指導をすることもあるそうです。



子どもの健全育成セミナーの様子

「けがの予防には、まず自分の身体を知り、自己管理をすることが大切なんです。それによって、生涯にわたりスポーツを楽しむようになるとともに、将来の生活習慣病の予防にもつながります」とのこと。

また、区内の中学校の部活動から依頼を受け、部員のコンディショニングサポートも行っています。

「身体だけではなく、子どもたちの心の育成にも力を入れているのが3Cの強みです。周りの人たちの支えがあってスポーツができてということ、つまり感謝の

心を持ってほしいということを伝えていきます」

そしてもう1つ、3Cが目指しているのは、“地域社会のコミュニティ醸成”。

「地域の子どもの健全育成推進のためには、保護者・行政(教員)・地域団体が三位一体となってサポートしていくことが必要だと考えています」

そのためには3Cの認知度を高め、活動を広く知ってもらう必要があります。区内の学校に1校ずつ電話をかけてチラシの配布を依頼するなど、日々の地道な努力が功を奏し、少しずつ活動の場が広がっていると言います。

今後は地域のいろいろな団体と連携し、積極的にイベントなどを開催したいと熱く語る石郷岡さん。

「地域にとって必要不可欠な存在になりたいですね。いつか拠点を持って、子どもも大人も気軽に相談できる“保健室”のような場所を作りたいですね」

3Cの挑戦はまだまだ続きます。



中学生のコンディショニングサポートを行う石郷岡さん

■一般社団法人3C

代表：石郷岡 旭
TEL：090-9535-9687
メール：issya3c@gmail.com
ホームページ：http://issya-3c.net/

地域活動団体助成金等情報

助成内容や応募条件などは各助成金によって異なりますので、必ず事前に詳細を確認してください。募集要項・申請書類については、各ホームページからダウンロードしてください。

■令和2年度 美術に関する国際交流助成

A. 海外美術展

- (1) 日本の美術家が、海外において開催する個展、共同展
- (2) 日本の美術家の作品を海外に紹介するため、海外の美術館等と共同して開催する展覧会

B. 国内開催の国際会議・交流活動

多くの外国人美術家ないし美術研究者の参加を得て行われる美術に関する国際会議ならびに交流活動(日本国内開催に限る)

【助成金額】1件あたりの上限額：200万円

【応募期限】2019年11月12日

【関連URL】<http://www.pola-art-foundation.jp/grants/index.html>

【問い合わせ】公益財団法人ポーラ美術振興財団 助成事業係
〒141-8523 品川区西五反田2-2-3
TEL：03-3494-8237(代表)

■こどもオポチュニティーズクラブ基金

【助成対象】

東京都・神奈川県・静岡県内において食事支援活動または学習支援活動を行う団体・個人で、以下の要件を満たすもの。

1. 子どもたちに対して無料の食事支援活動または学習支援活動を行っているもの
2. 1年以上かつ毎月1回以上の食事支援または学習支援を約束できるもの
3. 営利目的でない事業

【助成金額】1件あたりの上限額：20万円(月2回以上実施団体)

【応募期限】2019年11月28日

【関連URL】<https://kosuikyo.com/>

【問い合わせ】公益財団法人公益推進協会
こどもオポチュニティーズクラブ基金事務局 担当：高野
〒105-0004 港区新橋6-7-9 新橋アイランドビル2階
TEL：03-5425-4201

千川通りの花からつながる地域の輪

桜台花クラブ



代表の入子 文子さん(前列中央)とメンバーの皆さんは、全員70代。「この活動が毎日の活力になっています!」

最近、桜台駅近くの千川通りの植え込みが季節の花で彩られ、通行人の目を楽しませているのをご存じでしょうか? 4年前から花の手入れの活動を行っている「桜台花クラブ」代表の入子さんにお話を伺いました。

「最初は植え込みが落ち葉や雑草だらけで、さらには、信号停止した車の窓からゴミを投げ捨てたり、歩きながらゴミを捨てたりする人が多かったんです。職場の近くだったので、いつも気になっていて…何とかきれいにしたいと思いました。千川通り



気心の知れたメンバー同士の「あ・うん」の呼吸で作業が進んでいきます

は都道なので、まず東京都に申請に行って許可をもらいました」

最初は1人でゴミ拾いから始め、花の苗を買ってきて植えるようになった入子さ

ん。活動を続けるうち、街が少しずつ変わってきたと言います。

「知らない方から『ありがとう』と声をかけられるようになりました。このひと言が本当に嬉しくて、やりがいになっています(笑)。肥料を持ってきたり、水やりを手伝ったりしてくださる方もいるんですよ」

入子さんの姿を見た近所の人たちが有志としてメンバーに加わり、現在は6名でにぎやかに活動をしています。

「活動日や時間などは特に決めず、できる時にやりたい人がやるのが、このクラブの特徴。主な仕事は、朝晩の水やりと花の植え替え、ゴミ拾いです」

水やりを使う大量の水をカートで運んだり、苗の植え替えを中腰で行ったり



ピンクリボン月間に設置された看板は版画家の蟹江杏さんのデザイン

と、身体的に負担が大きい作業もありますが、皆で協力し合いながら笑顔で取り組みます。作

業の合間に地域の方と挨拶をするなど、交流も育んでいます。

10月のピンクリボン月間には、花を通じて乳がん

の啓発活動も行っています。その一環として、手入れをしている植え込みに、乳がんに関する看板やピンク色のベンチを新たに設置(10月31日まで)。携わったメンバーは、「こうした活動を通して、多くの皆さんに乳がんのことを知ってもらい、地域ムーブメントにつながれば」と話していました。

また、最近では、江古田方面でも花を植える活動をしたいと声をかけてきた人がいるそうです。

「桜台から江古田まで、千川通りにずっと花が続いていたら素敵ですよ。『ありがとう』の言葉をご褒美に、人生の最後までこの活動を続けていきます!」

■桜台花クラブ

代表：入子 文子

TEL：080-5051-5673

■2020年度 防災教育チャレンジプラン

防災教育チャレンジプランでは、新しいチャレンジをサポートいたします。そのプランの準備・実践に当たって発生する経費を支援し、実現に向けて防災教育チャレンジプランアドバイザーが出向くなどして相談などの支援を行います。

【応募資格】

- 防災教育を一層充実させたいと考えている教育・社会福祉施設、NPO、地域団体など
- 採用された場合は、開催予定の会合(実践団体決定会、中間報告会、活動報告会)に出席できること

【助成金額】1件あたりの上限額：30万円

【応募期限】2019年11月29日

【関連URL】<http://www.bosai-study.net/boshu/index.html>

【問い合わせ】防災教育チャレンジプラン実行委員会事務局
応募には事前登録が必要。事務局より応募用紙の電子ファイル及び提出先を案内いたします。FAX：03-3556-8217
E-mail：cpinfo2865@bosai-study.net

■2020年度助成(地域文化の振興)

1. 助成内容

永年地域文化の振興に寄与してこられた団体、とりわけ地域の音楽・美術・演劇・伝統芸能の各分野において努力されている諸団体の活動に対して助成支援を行う。

2. 助成対象

- (1) 国内の団体・法人が、日本国内で行う、地域文化振興に寄与し、文化・芸術的に優れた公演・美術展等。
- (2) 前項の公演・美術展等は、2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日まで)に開催もしくは会期が開始するものとする。

3. 募集部門

音楽部門、美術部門、演劇部門、伝統芸能部門、の4部門。

【助成金額】1件あたりの上限額：なし

【応募期限】2019年11月30日

【関連URL】<http://www.mut-tiikibunkazaidan.or.jp/>

【問い合わせ】公益財団法人 三菱UFJ信託地域文化財団
〒103-0027 中央区日本橋2-2-4 日本橋ビル
TEL：03-3272-6993

練馬区との協働により、夢のある まちづくりを目指す活動を応援します! 「地域おこしプロジェクト」 事業企画を募集します 募集締切 令和2年1月31日

地域おこしプロジェクトは、区民の皆さまの自由な発想で練馬の未来に向けた取り組みを区と協働で進めていく事業です。今回、来年度から実施する事業企画を募集します。

【対象】 町会・自治会、商店会、NPO法人、一般社団法人、株式会社、地域活動団体など、区内で活動する団体

【主な支援内容】

- ① 区職員の派遣：企画立案・実施の各段階で目標達成を支援
- ② 補助金：3年間で最大300万円
- ③ 経営相談：的確な事業運営を図るため、専門家による経営相談が受けられます

【申込】 区ホームページ内「地域おこしプロジェクト」または、区民協働交流センター窓口、練馬区役所本庁舎9階「協働事業担当係」にて配布している募集要項をご覧の上、事前相談（予約制）を受けてください。

応募説明・サポート講座を開催

【内容】

- ・地域おこしプロジェクトへの応募のポイント
- ・継続的な事業運営に関するノウハウ（ソーシャルビジネスの考え方や事例紹介など）

【日時】

- ① 11月15日(金) 10時～12時
会場：練馬区立勤労福祉会館
- ② 11月20日(水) 18時30分～20時30分
会場：ココネリ3階 ※①、②は同内容

【申込】 開催日の前日までに電話・メール・FAXで協働事業担当係へ

事前相談会日程(会場：ココネリ3階) *事前予約制(先着順)

12月4日(水)	① 13:00～	② 13:50～	③ 14:40～
12月9日(金)	① 17:30～	② 18:20～	③ 19:10～
12月18日(水)	① 14:00～	② 14:50～	③ 15:40～
1月15日(水)	① 18:30～	② 19:20～	③ 20:10～
1月24日(金)	① 9:30～	② 10:20～	③ 11:10～
	④ 13:00～	⑤ 13:50～	⑥ 14:40～
	⑦ 15:30～		

【問い合わせ・申込先】

協働推進課協働事業担当係

TEL：03-5984-1614 FAX：03-3557-1351

メール：KYODOSUISHIN03@city.nerima.tokyo.jp



練馬つながるフェスタ2020 参加団体募集!

ワークショップやステージパフォーマンスなどを通じて、地域で活動する団体の魅力を紹介しながら、団体同士も知り合い交流を深めるためのイベントです。昨年度に引き続き4回目の開催となります。

【日時】 令和2年2月1日(土) 11時～16時(予定)

【対象団体】 区内で地域活動を行っている町会・自治会やNPO、ボランティア団体など

【募集内容】

- ① ブース出展(ワークショップ、ミニ講座など)：20団体
- ② ステージ出演(演劇、室内楽など)：10団体

【申込期限】 令和元年11月12日(火)まで

※応募多数の場合、抽選(①②共通)

【申込方法】 区ホームページ内「練馬つながるフェスタ」または区民協働交流センター窓口、練馬区役所本庁舎9階窓口にて配布している募集要項をご確認の上、下記の提出先まで電子メール、FAX、または郵送でお送りいただくか、窓口までご持参ください。



【問い合わせ・申込先】 〒176-0001 練馬区練馬1-17-1 ココネリ3階 練馬区立区民協働交流センター

TEL：03-6757-2025 FAX：03-6757-2026 メール：KYODOSUISHIN@city.nerima.tokyo.jp

URL：<https://www.city.nerima.tokyo.jp/kurashi/kuseisanka/kyodosuisin/tunafes/dantaibosyu.html>



練馬区立区民協働交流センター

練馬1-17-1 ココネリ3階 TEL:03-6757-2025 年中無休 9時～22時(12/29～1/3は休業)



<https://www.facebook.com/Nerimakyodokoryucenter/>



練馬区立区民協働交流センター フェイスブック 検索



https://twitter.com/kyodo_nerima



練馬区立区民協働交流センター ツイッター 検索

ホームページ

<http://www.nerima-kyodo.com/>



練馬区立区民協働交流センター 検索

★音声でお読みください

ご存知でしたか? 練馬区立区民協働交流センター発行「ねりま地域活動ニュース」は音声で伝える「視覚障害者用」録音版を貸し出しています。ご希望の方は一步の会にお申し込みください。

NPO法人点訳・音声訳集団一步の会 練馬区高松2-16-12 TEL：03-3577-5666